

経営発達支援事業評価シート【令和6年度】

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上） D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）  
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%） E：未実施  
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度 補助金 活用有無	委員の評価・意見						
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	森	樋渡	笹井	三好	原口	見直し等の意見
<b>1. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</b>																	
事業評価委員会の開催	有	1回	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む) 道内全商工会で統一するクラウド型経営支援ツールを活用して職員間で支援情報の共有等が行い、事業評価委員会にて専門家の助言を受けた。 支援実績をデータ化することにより、職員間で共有が図られ経営分析及び計画策定支援を効果的に実施するが、経営発達支援事業の評価・見直しに活用できた。 道内全商工会で統一するクラウド型経営支援ツールを活用してデータ蓄積・管理を継続に行い、評価委員会等での定期的な事業の見直しに繋げる。	有	A	A	B	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
<b>2. 経営指導員等の資質向上に関すること</b>																	
講習会等の積極的活用	-	9回	12回	14回	12回	12回	21回	A	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む) 全職員が「経営発達支援事業」に基づく伴走型支援を着実に実施するため、北海道商工会連合会から開催案内された経営支援能力向上を図る各種研修に出席した。 支援に必要な知識を身につけるため研修に出席することにより支援のノウハウを修得することができ、全職員のスキルアップに繋がった。 今後も継続して全職員が経営支援能力の向上やスキルアップを図るため積極的に出席する。	-	A	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。
職員会議による情報共有・意見交換	-	6回	12回	8回	12回	12回	11回	B	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む) 事業者支援の情報やノウハウを職員間で共有するために、7月以外に毎月1回職員のミーティングを実施した。 職員間で事業者支援の情報を共有したことにより、職員のノウハウ向上と支援の効率化が図られた。 継続して毎月1回職員のミーティングを実施することにより職員の支援能力と支援の効率化を図る。	-	B	B	B	A	B	B	目標達成率は100%には達しなかったものの11回の実施となった。引き続き職員間の情報共有によるノウハウ蓄積、レベルアップを図りたい。
<b>3. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること</b>																	
関係機関との情報交換	-	7回	9回	10回	9回	9回	16回	A	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む) 十勝管内商工会関係、税理士会、帯広税務署、日本政策金融公庫、幕別町経済対策意見交換会に出席して情報交換を行った。 対象となる職員が会議や研修・懇談会に出席し、各関係機関との情報交換を行うことで支援情報等が得られ、支援スキルの向上やノウハウの共有に繋がった。 関係機関との情報交換により支援情報が得られ、支援スキルの向上に繋げるため今後も積極的に情報交換の場に参加する。	-	A	A	A	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。

III. 地域経済の活性化に資する取組

認定計画の事業内容 ※認定計画の事業内容を全て記載すること	本年度 補助金 活用	目標数値（過年度は実績値）					本年度実績		実施内容ともたらされた効果や今後の対応等	次年度 補助金 活用有無	委員の評価・意見						
		R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	実績値	自己評価			評価	森	樋渡	笹井	三好	原口	見直し等の意見
地域の関係者間による意識の共有	-	-	1回	1回	1回	1回	1回	A	実施内容 (補助金活用含む) もたらされた効果や課題 今後の対応等 (補助金活用含む) 地域ブランドの確立や地域資源を生かした独自の価値を発信する事業の協議に出席して、地域の関係団地と意見交換を行った。 農業を核として産業間の連携を強め、新たな産業の創出やそれに伴う商工・観光などとの一体的な振興を図り、地域全体の活性化に繋げた。 引き続き、商工会・幕別町・農業協同組合・町内金融機関・生産者・農業学識者と連携を図り、成果目標や点検、評価しながら地域全体の活性化に努める。	-	A	A	B	A	A	A	A評価のため、見直し等の意見はありません。